問１

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法等を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「ＦＰ」という）の行為に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、記載のない資格の登録等については考慮しないこととする。

１．投資助言・代理業の登録を受けていないＦＰが、公表されている有価証券報告書などに基づき、相談者に対して、有償で具体的な投資時期等の判断や助言を行った。
２．税理士の登録を受けていないＦＰが、住宅展示場におけるＦＰ相談会で、住宅購入に当たり、住宅借入金等特別控除（住宅ローン控除）の適用を受けた場合の具体的な税額計算を行った。
３．生命保険募集人・保険仲立人の登録を受けていないＦＰが、変額年金保険の一般的な商品内容について説明を行った。

問２

下記は、東条家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる数値として、正しいものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用すること。また、計算過程においては端数処理をせず計算し、計算結果については万円未満を四捨五入することとする。

＜東条家のキャッシュフロー表＞　（単位：万円）

経過年数			基準年	１年後	２年後	３年後	４年後
家族・年齢	東条　義雄	本人	３１歳	３２歳	３３歳	３４歳	３５歳
	八重	妻	３０歳	３１歳	３２歳	３３歳	３４歳
	泰彦	長男	３歳	４歳	５歳	６歳	７歳
ライフイベント					自動車購入		泰彦小学校入学
		変動率					
収入	給与収入（本人）	１％	４３０				
	給与収入（妻）	１％	３６０				
	収入合計	－	７９０				
支出	基本生活費	２％	２８０				（　ア　）
	住宅関連費	－	１８０	１８０	１８０	１８０	１８０
	教育費	－	１２	１５	１５	１５	２４
	保険料	－	２４	２４	２４	２４	２４
	一時的支出	－			３００		２０
	その他支出	－	４８				
	支出合計	－	５４４		８５８		
年間収支				２４５	（　イ　）		
金融資産残高		１％	６８０	（　ウ　）			

※年齢および金融資産残高は各年１２月３１日現在のものとする。

※給与収入は可処分所得で記載している。

※記載されている数値は正しいものとする。また、問題作成の都合上、一部を空欄にしてある。

１．（ア）２９１

２．（イ）▲５２

３．（ウ）９２５

問３

山本家の現時点の資産および負債が下記＜資料＞のとおりである場合、＜資料＞に基づく山本家のバランスシートの空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜山本家のバランスシート＞　（単位：万円）

［資産］	×××	［負債］	×××
		負債合計	×××
		［純資産］	（　ア　）
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

＜資料＞

［保有財産（時価）］　（単位：万円）

金融資産	
普通預金	３００
定期預金	１，５００
投資信託	２００
生命保険（解約返戻金相当額）	１００
自動車	１５０
不動産（自宅マンション）	４，０００

［負債残高］

住宅ローン（自宅マンション）：３，２００万円

１．　２，９００（万円）

２．　２，９５０（万円）

３．　３，０５０（万円）

問４

木村さんは、今後１０年間で積立貯蓄をして、子どもの大学進学資金として２００万円を準備したいと考えている。積立期間中に年利２．０％で複利運用できるものとした場合、２００万円を準備するために必要な毎年の積立金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の３つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、解答に当たっては、千円未満を切り上げること。また、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料：係数早見表（年利２．０％）＞

	現価係数	資本回収係数	減債基金係数
１０年	０．８２０３	０．１１１３３	０．０９１３３

※記載されている数値は正しいものとする。

１．　１６５,０００円
２．　１８３,０００円
３．　２２３,０００円

問５

浦田豊和さん（６１歳）は、老齢基礎年金の繰上げ受給および繰下げ受給について、ＦＰの堀尾さんに質問をした。豊和さんの老齢基礎年金の繰上げ受給および繰下げ受給に関する次の記述の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

老齢基礎年金の繰上げ受給をした場合の減額率および老齢基礎年金の繰下げ受給をした場合の増額率は、以下の算式により計算する。
減額率＝（　ア　）％×繰上げ請求月から６５歳に達する日の前月までの月数
増額率＝（　イ　）％×６５歳に達した月から繰下げ申出月の前月までの月数

１．（ア）０．４　（イ）０．７
２．（ア）０．５　（イ）０．５
３．（ア）０．７　（イ）０．４

問６

下記＜資料＞に基づくＷＡ株式会社の投資指標に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととし、計算結果については表示単位の小数点以下第３位を四捨五入すること。

＜資料：ＷＡ株式会社に関するデータ＞

株価	１，５００円
１株当たり当期純利益	２００円
１株当たり純資産（自己資本）	１，８００円
１株当たり年間配当金	２５円

１．株価収益率（ＰＥＲ）は６０倍である。
２．株価純資産倍率（ＰＢＲ）は０．８３倍である。
３．配当性向は１２．５０％である。

問７

投資信託の費用に関する下表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句として、最も適切なものはどれか。

投資信託の費用	主な内容
購入時手数料	投資信託の購入時に販売会社へ支払う費用である。購入時手数料が徴収されない（　ア　）と呼ばれる投資信託もある。
運用管理費用	運用のための費用や情報開示のための資料作成・発送、資産の保管・管理などの費用として徴収される。信託財産の残高から（　イ　）、差し引かれる。
信託財産留保額	投資家間の公平性を保つために、一般的に、（　ウ　）の際に徴収される。投資信託によっては差し引かれないものもある。

１．（ア）オープン型
２．（イ）毎日
３．（ウ）償還

問８

ドルコスト平均法により、１回当たり３万円の投資金額でＹＫ株式会社の株式を下記＜資料＞に記載の株価で買い付けた場合の平均取得単価（株価）として、正しいものはどれか。なお、税金や手数料等については考慮しないこととする。

＜資料＞

	株価（１株当たり）
第１回	１，２００円
第２回	２，０００円
第３回	２，０００円
第４回	１，５００円

１．　１，５００円

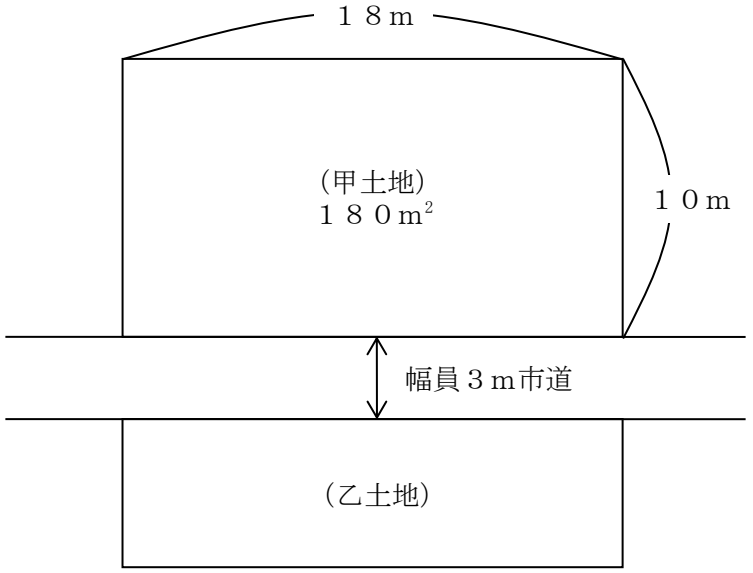
２．　１，６００円

３．　１，６７５円

問９

下記＜資料＞の甲土地の建築面積の最高限度を算出する基礎となる敷地面積として、正しいものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料＞



※甲土地・乙土地が面する道路は建築基準法第４２条第２項に該当する道路で、甲土地・乙土地はともにセットバックを要する。また、道路の中心線は現況道路の中心に位置するものとする。なお、特定行政庁が指定する幅員６ｍ指定区域ではない。

１．　１４４ｍ²
２．　１６２ｍ²
３．　１７１ｍ²

問１０

土地の登記記録に関する下表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる記録事項の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

＜土地登記記録の構成＞

土地登記記録	表題部	（　ア　）	
	権利部	甲区	（　イ　）
		乙区	（　ウ　）

１．（ア）所有権保存登記　（イ）賃借権設定登記　（ウ）抵当権設定登記
２．（ア）土地の所在や地積　（イ）賃借権設定登記　（ウ）抵当権設定登記
３．（ア）土地の所在や地積　（イ）所有権移転登記　（ウ）賃借権設定登記

問１１

鍋島さんは、所有しているマンションを賃貸している。賃貸マンションに係る当年分の収入および支出等が下記＜資料＞のとおりである場合、当年分の所得税に係る不動産所得の金額として、正しいものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料＞

・ 賃料収入（総収入金額）：１８０万円
・ 支出等
　銀行からの借入金に係る利息：４０万円
　管理費等：４６万円
　減価償却費：３５万円
※支出等のうち必要経費となるものは、すべて当年分の不動産所得に係る必要経費に該当するものとする。

１．　５９万円
２．　９４万円
３．　９９万円

問１２

大下秀雄さんが加入している生命保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険金および給付金の支払事由が生じたときにおいて、保険契約は有効に継続しているものとする。また、秀雄さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険種類　医療保険（無配当）　　保険証券番号△△△－□□□□

保険契約者	大下　秀雄　様
被保険者	大下　秀雄　様 契約年齢　３２歳　男性
受取人	〔給付金受取人〕被保険者　様 〔死亡保険金受取人〕大下　寧々　様（妻）

◆契約日（保険期間の始期）
　２０××年×月×日
◆主契約の保険期間
　終身
◆主契約の保険料払込期間
　終身

■ご契約内容

給付金・保険金の内容	給付金額・保険金額	保険期間
入院給付金	日額　５，０００円 ＊病気やケガで２日以上の入院をした場合、入院開始日を含めて１日目から支払います。 ＊同一事由の１回の入院給付金支払い限度は６０日、通算して１，０００日となります。	終身
手術給付金	給付金額　入院給付金日額×１０・２０・４０倍 ＊所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて、手術給付金（入院給付金日額の１０倍・２０倍・４０倍）を支払います。	
死亡・高度障害保険金	保険金　１，０００，０００円 ＊死亡または所定の高度障害状態となった場合に支払います。	

■ご契約内容

払込保険料合計	×，×××円／月
払込方法（回数）：年１２回 払込期日　　：毎月	

■その他付加されている特約・特則等

保険料口座振替特約
＊以下余白

秀雄さんが、現時点で交通事故により大ケガを負い、給付倍率２０倍の手術（１回）を受け、継続して６５日間入院した場合に支払われる保険金および給付金は、合計（　ア　）である。

１．　３００，０００円
２．　４００，０００円
３．　４２５，０００円

問１３

大久保利也さんの生命保険の年間支払保険料が下記＜資料＞のとおりである場合、利也さんの当年分の所得税の計算における生命保険料控除の金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の保険について、これまでに契約内容の変更はないものとする。また、当年分の生命保険料控除額が最も多くなるように計算すること。

＜資料＞

［定期保険（無配当、一般生命保険料）］
契約日：２０１８年９月１日
保険契約者：大久保　利也
被保険者：大久保　利也
死亡保険金受取人：大久保　順子（妻）
年間支払保険料：６２，８８０円

［がん保険（無配当、介護医療保険料）］
契約日：２０１６年６月１日
保険契約者：大久保　利也
被保険者：大久保　利也
死亡保険金受取人：大久保　順子（妻）
年間支払保険料：２８，８００円

＜所得税の生命保険料控除額の速算表＞

［２０１２年１月１日以降に締結した保険契約（新契約）等に係る控除額］

年間の支払保険料の合計		控除額
	２０，０００円 以下	支払保険料の全額
２０，０００円 超	４０，０００円 以下	支払保険料×１／２＋１０，０００円
４０，０００円 超	８０，０００円 以下	支払保険料×１／４＋２０，０００円
８０，０００円 超		４０，０００円

（注）支払保険料とは、その年に支払った金額から、その年に受けた剰余金や割戻金を差し引いた残りの金額をいう。

１．　３５，７２０円
２．　４０，０００円
３．　６０，１２０円

問１４

斉藤さんが自身を被保険者として契約している個人賠償責任保険に関する次の記述のうち、斉藤さんが国内で法律上の損害賠償責任を負った場合に保険金の支払い対象とならないものはどれか。

１．勤務先の営業車を運転中に、民家の塀を誤って壊してしまった。
２．土産店で陳列している商品を誤って壊してしまった。
３．サイクリング中に、自転車の運転を誤り歩行者にケガをさせてしまった。

問１５

会社員の中岡さんの当年分の所得等が下記＜資料＞のとおりである場合、中岡さんが当年分の所得税の確定申告をする際に、給与所得と損益通算できる損失の金額として、正しいものはどれか。なお、▲が付された所得の金額は、その所得に損失が発生していることを意味するものとする。

＜資料＞

所得または損失の種類	所得金額	備考
給与所得	７００万円	勤務先からの給与であり、年末調整は済んでいる。
雑所得	▲３０万円	仮想通貨の売却損である。
不動産所得	▲１００万円	収入金額：１００万円　必要経費：２００万円 ※必要経費の中には、土地の取得に要した借入金の利子が２０万円含まれている。

１．　▲８０万円
２．▲１００万円
３．▲１３０万円

問１６

会社員の近藤敏彦さんの生計を一にしている家族に関するデータは下記＜資料＞のとおりである。敏彦さんの当年分の所得税における扶養控除額として、正しいものはどれか。なお、＜資料＞に記載のあるデータ以外の扶養控除の要件はすべて満たしているものとする。

＜資料＞

氏名	続柄	年齢（※）	収入等
近藤　敏彦	本人	４７歳	給与収入７００万円
陽子	妻	４８歳	パート収入８０万円
早紀	長女	２０歳	なし
賢一	長男	１５歳	なし

（※）当年１２月３１日時点の年齢である。

１．　３８万円
２．　６３万円
３．　７６万円

問１７

高橋さんは、当年３月に下記＜資料＞の一時払養老保険の満期保険金を受け取った。高橋さんが当年分の所得税において総所得金額に算入すべき一時所得の金額として、正しいものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料＞

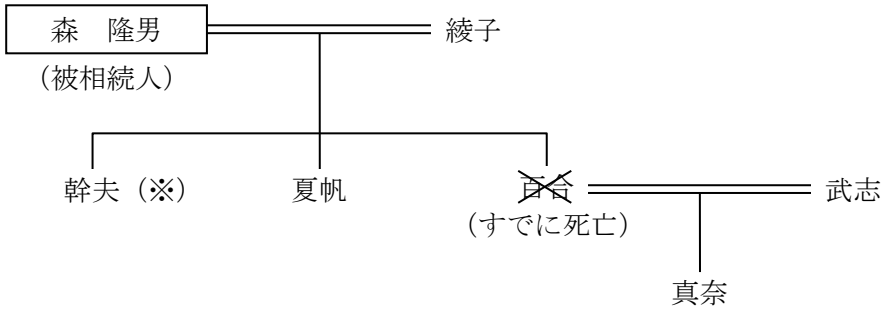
保険種類	一時払養老保険
保険期間	１０年
保険契約者・保険料負担者	高橋さん
保険料払込方法	月払い
満期保険金額	６５０万円
支払保険料の総額	５００万円

１．　　５０万円
２．　　７５万円
３．　１００万円

問１８

森隆男さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜親族関係図＞



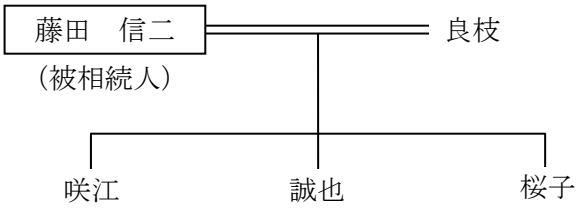
※幹夫さんは期限内に家庭裁判所で手続きを行い、適法に相続を放棄した。

１．綾子　１／２　　夏帆　１／２
２．綾子　１／２　　夏帆　１／４　　真奈　１／４
３．綾子　１／２　　夏帆　１／６　　幹夫　１／６　　真奈　１／６

問１９

藤田信二さん（被相続人）の＜親族関係図＞および信二さんの死亡に伴う＜遺族が受け取った生命保険の死亡保険金＞が下記のとおりである場合、この死亡保険金のうち信二さんの相続に係る各相続人の相続税の課税価格に算入される金額の合計額（生命保険金等の非課税金額控除後の金額）として、正しいものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜親族関係図＞



＜遺族が受け取った生命保険の死亡保険金＞

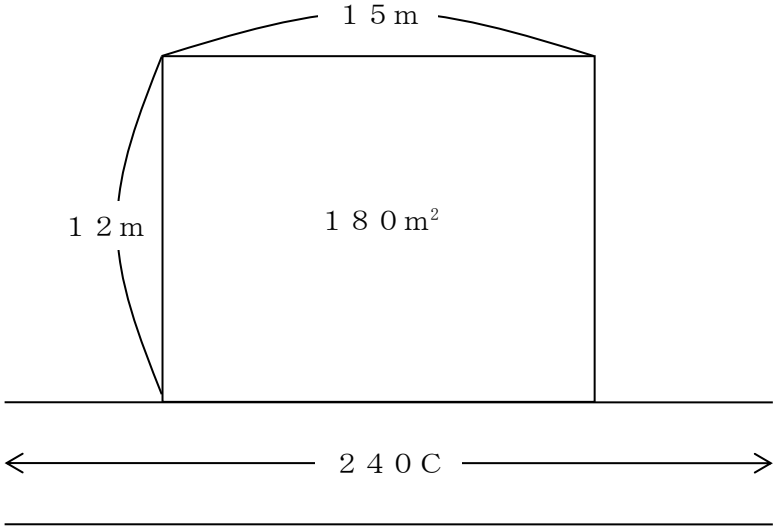
保険契約者 （保険料負担者）	被保険者	死亡保険金受取人	金額
信二さん	信二さん	良枝さん	３，０００万円

１．　　６００万円
２．　１，０００万円
３．　２，０００万円

問２０

下記＜資料＞の宅地の借地権（普通借地権）について、路線価方式による相続税評価額として、正しいものはどれか。なお、奥行価格補正率は１．０とし、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料＞



［借地権割合］

記号	借地権割合
A	９０％
B	８０％
C	７０％
D	６０％
E	５０％
F	４０％
G	３０％

１．　１２，９６０千円
２．　３０，２４０千円
３．　４３，２００千円